



第一次入学試験問題 [小論文] 解答例・出題の意図

コース：授業実践力向上コース

---

【出題の意図】

学習指導要領解説には、児童生徒の学習の基盤となる資質・能力として、言語能力を育成するために、①学校生活全体における言語環境を整えることと、②各教科の特質に応じた言語活動を充実すること、あわせて③言語能力を向上させる重要な活動である読書活動を充実させることの3点が示されている。また、中学校を例に挙げると、中学校の各教科についても以下のように示されている。

- 国語科では、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力をどのような言語活動を通して育成するかを言語活動例として示している。
- 「社会的な見方・考え方を働かせることをより一層重視する観点に立って、社会的事象の意味や意義、事象の特色や事象間の関連、社会に見られる課題などについて、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなどの言語活動に関わる学習を一層重視すること」（社会科）
- 「思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けること」（数学科）
- 「学校や生徒の実態に応じ、十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設けるようにすること。その際、問題を見だし観察、実験を計画する学習活動、観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが充実するようにすること」（理科）
- 「音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価などを伝え合い共感するなど、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること」（音楽科）
- 「アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図ること」（美術科）
- 「衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ること」（技術・家庭科）
- 「言語能力を育成する言語活動を重視し、筋道を立てて練習や作戦について話し合う活動や、個人生活における健康の保持増進や回復について話し合う活動などを通して、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促し、自主的な学習活動の充実を図ること」（保健体育科）

（中学校学習指導要領解説 総則編 82-83 ページより）

これらの視点に関わって、各教科内で取り組む言語活動か、教科外活動と連携して取り組む言語活動が、具体的な単元や授業の展開に基づいて説明できることが望ましい。特に、学習指導要領において求められる「対話的」な学びが実現できそうな授業や実践について記述できることが期待される。